MELPRO−CHARGEの基本構成

磯松信夫*
片山善博*
須賀武彦*

要　旨

MELPRO(注)−CHARGEは，高性能CPUの採用によってハードウェアを大幅に縮小するとともにサーバ機能を標準装備することで遠隔運用，保守，診断など多彩な機能を実現可能とした新しいディジタル保護・制御ユニットである。

その開発コンセプトは，“C”“H”“A”“R”“G”“E”の6文字に代表されるが，これらは，先進技術と市場が求める様々なニーズを集約したものである。ここで，C：Compact(コンパクト)，H：Human−Friendly(運用・保守性向上)，A：Adaptive(アダプティブ保護機能)，R：Reliable(信頼度向上)，G：Growing(拡張性)，E：Ecology(地球環境にやさしい)をそれぞれ表わしている。

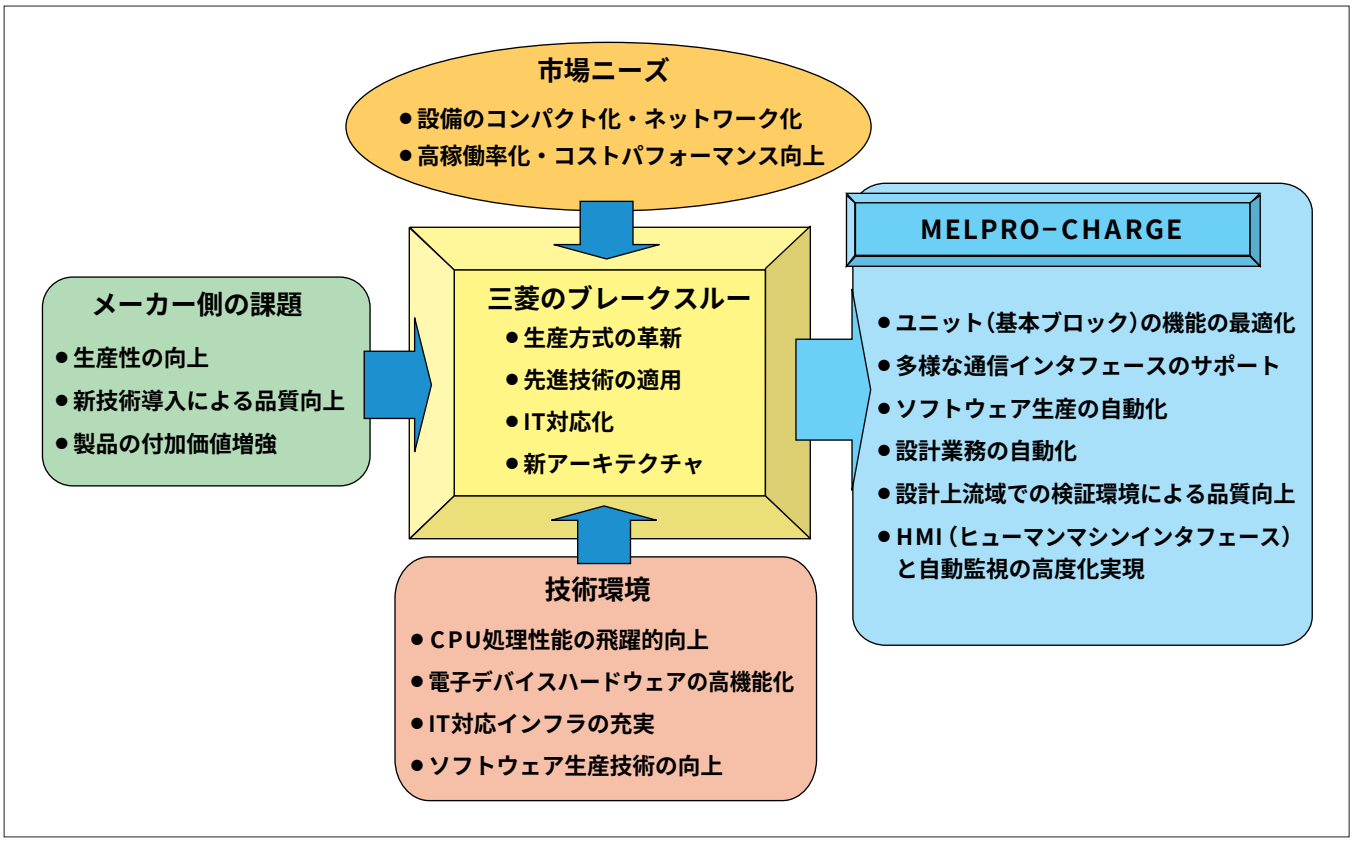
コンセプトの具体化では，

- 最新の電子デバイスの採用によるコンパクト化
- IT(Information Technology)応用の多彩な機能による利便性の追求
- ユニットの機能最適化によるコストパフォーマンス追求
- ソフトウェア生産の高度支援・解析・検証環境による信頼度向上

などユーザーメリットを考慮した。

また，MELPRO−CHARGEは，多様な要求仕様に最適システムでこたえるため，タイプ1(基本)，タイプ2(拡張)，タイプ3(高機能)の3機種を備えており，配電用系統から超高圧系統までをカバーしている。これらは，統一したコンセプトで製品シリーズ化がなされており，今後は，M32EGシリーズの後継機種として，各種分野で適用拡大を図る考えである。

(注)“MELPRO”は，三菱電機㈱が商標登録申請中である。



MELPRO−CHARGEのコンセプト

電力系統保護・制御システムでは，より一層の運用・保守の業務効率化・合理化が求められるようになってきており，変電機器から制御所，給電所まで上位系を含む広域ネットワークシステム指向が強くなってきている。MELPRO−CHARGEは，このような次代のニーズにこたえる新しい保護・制御ユニットとして開発されたものであり，高性能CPUの採用によってハードウェアを大幅に縮小するとともに，サーバ機能を標準装備することでITを応用した様々な機能を実現している。